

第7回下水道グローバルセンター審議会開催概要(平成27年11月16日)

下水道グローバルセンター(GCUS)の事務局では、GCUS活動に対するご意見やご助言をいただくことを目的に、学識経験者やジャーナリスト、並びに自治体・民間企業等の代表者を委員とする「審議会」を年1回開催しており、本年は11月16日に第7回下水道グローバルセンター(GCUS)審議会を公益社団法人日本下水道協会5階大会議室において開催しました。

今回は、楠田座長(九州大学東アジア環境研究機構特別顧問・名誉教授)ほか18名の審議会委員(代理出席含む)、委員随行者、GCUS構成団体、プレス等の参加を得て開催されました。

議事では、始めに活動報告および今後の活動予定として、重点国・その他対象国における主な取組(東南アジア、中東他)や国際標準化(ISO)活動、水・環境ソリューションハブの活動、情報収集・マッチング関連の活動等について報告がありました。

次に、GCUS 森田顧問とヤスダエンジニアリング(株)安田専務より、ベトナムにおける推進工法普及活動と今後の方針について説明がありました。

最後に、今後の活動に向けた意見交換においては、委員から、規格は世界的に重要な動きなので本省のバックアップが必要である、特に重点国の情報を整理・共有する必要がある、SATREPSとの連動を図るべきであるとのこと意見等も頂きました。

GCUSでは、審議会でのご意見を踏まえて、今後も世界の水・衛生問題の解決と我が国民間企業の水ビジネス国際展開の支援を進めて参ります。

引き続き、会員の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

